



各 位

2021年6月10日

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 昌利
(コード番号 6834 東証 JASDAQ)
問合せ先 執行役員管理部長 斎藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

中国子会社の工場拡張に関するお知らせ

2021年5月10日、当社の中国遼寧省大連市の子会社、大連精工技研有限公司は、遼寧省大連経済技術開発区にある昭和電工（大連）有限公司様から、同社が工場として使用していた土地と建物を譲り受ける契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 大連精工技研有限公司について

大連精工技研有限公司は、光通信用コネクタの基幹部品であるフェルールの製造工場として2006年に設立いたしました。現在、200名の従業員で月産300万個のフェールを量産しております。

フェールの主原料はセラミックです。セラミックは硬くて脆い性質を持ち、加工の難しい素材として知られています。近年、大連精工技研は、セラミック加工で培ってきた高い加工技術をフェール以外の製品に展開し、事業拡大を図ろうと計画しています。こうした新たなビジネス展開を推進するにあたり、既存の工場では十分なスペースを確保できず、工場用地の取得が課題となっております。



光通信用コネクタの基幹部品『フェール』

2. 譲り受ける土地・建物の概要

今回、大連精工技研が昭和電工（大連）有限公司様から譲り受ける当該土地の面積は33,335㎡。敷地内には平屋の工場と3階建ての食堂兼社員寮、危険物倉庫等があります。それらの建物の総床面積は10,910㎡で、大連精工技研の現在の総床面積と比較して約1.6倍の広さになります。敷地内には広大な未使用の土地があり、工場の増築も可能。既存の工場から新工場までの距離は約3Kmと近く、工場間の移動に伴う時間的なロスはほとんどありません。



譲り受ける工場の全景

3. 譲受のスケジュールと今後

大連精工技研は、6月末までに昭和電工（大連）有限公司様から工場を引き受け、設備配置や部屋割り等のレイアウトを決定した後、建物内部の改装を行います。今後、新工場においては、光通信市場向けのビジネス以外に、データセンター関連や自動車、医療・バイオといった成長産業をターゲットに新たなビジネスを開拓していくことを計画しております。今回の土地・建物の取得費用、工場内部の改装費用、新規ビジネスの立ち上げに伴う設備増強等を含む総投資額は約 10 億円を予定しております。

以 上